

つながろう

OKITAMA

機関紙



連合置賜

2022年2月17日

2021 春闘特別号

連合山形置賜地域協議会

発行責任者: 舩山 勇幸

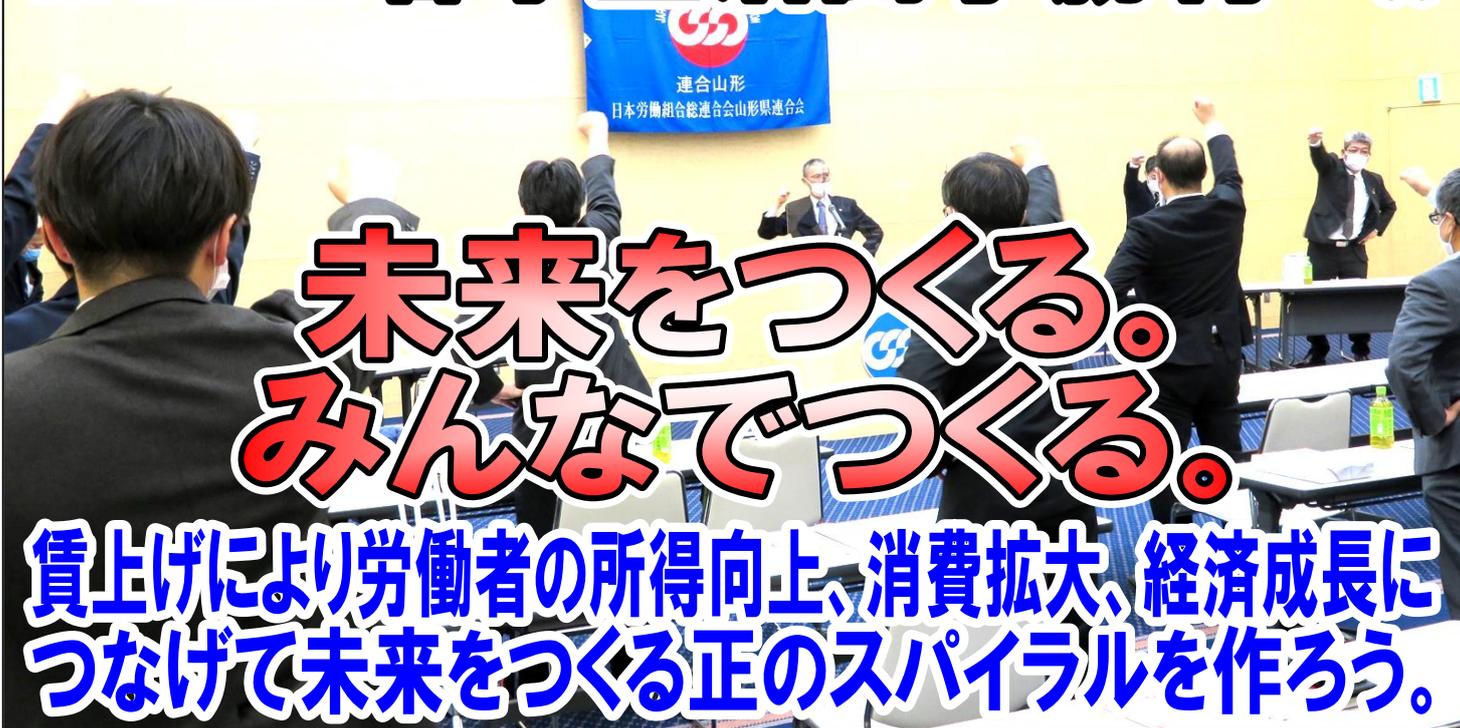
〒992-0042

米沢市塩井町塩野 1-1

米沢地区勤労者福祉会館内

コロナ禍に負けるわけにはいかない!!

# 2022春季生活闘争勝利へ!!



未来をつくる。  
みんなです。

賃上げにより労働者の所得向上、消費拡大、経済成長につなげて未来をつくる正のスパイラルを作ろう。

【2022春季生活闘争に向けて】

連合山形置賜地域協議会

議長 舩山 勇幸



日頃から連合置賜地協の活動に対してご協力とご理解により感謝いたします。

さて私たち連合置賜地協は、1月13日に第二回幹事会を開催し、その際「旗開き」をさせて頂きました。本来ならば置賜地協に加盟する多くの人達にお集まりいただき、全体で「団結」を確認したい処ではありましたが、皆様も周知の通りコロナウイルスの流行により、形だけの開催になってしまった事は大変残念に思っているところです。

また、2月中旬に開催を予定していた「春闘学習懇親会」も同様に中止との判断をさせて頂きました。

さて、今年の「春季生活闘争」の課題は何と言っても「ベアスアップ以上の賃上げ」を勝ち取れるかに掛かっています。ガソリンを中心とした燃料費の高騰は食料品や日用品などあらゆる分野において物価上昇を引き起こし、私たち労働者の生活を圧迫し始めています。岸田首相は、賃金を上げた企業に対して法人税の軽減を図ると明言しています。しかしながら、今すぐに賃上げを行える企業は「内部留保」を蓄えている大企業のみで、コロナ過であえぐ中小企業はこの恩恵は受けられず、財務面で余裕のある大企業だけがますます肥えていく、そんな政策に見えてなりません。

私たち労働者の賃金や労働条件は、労使間での協議や交渉で決めることが出来ると「労働基準法」には明記してあります。ぜひともこの時期に労働基準法等を再度お読みいただき「春季生活闘争」に活かしていただきたいと思います。

コロナウイルスの流行により多くの産別や単組が苦しい状況に置かれています。私たち置賜地域協議会の仲間が「一致団結」してこの難題に立ち向かい、「ベアスアップ以上の賃上げ」を勝ち取るため共に頑張りましょう。

以上、置賜地域協議会を代表してあいさついたします。

## 2022春闘学習懇談会は2年連続開催を断念...

2016年度より毎年「小国」・「米沢」・「東置賜」・「西置賜」の4地区に事務局がお邪魔して開催していましたが「春闘学習懇談会」は、各構成組織における感染防止対策方針等を鑑み飲食を伴う情報交換会は見送る事とし、感染防止対策を最大限に講じたうえで2月14日（月）18時30分より米沢市内の大きな会場において短時間での開催とすべく準備を進めておりました。

しかし、年明け以降再び新型コロナウイルス感染症が爆発的に急拡大し、山形県内においても初の蔓延防止等重点措置が適用された為連合山形として集会等が禁止となった事から、開催は断念せざるを得ませんでした。

昨年に引き続き、連合山形春季生活闘争方針冊子の展開に留まり不本意な結果となってしまいました。2023年、改めて開催すべく準備を進めて参りますので、その際は是非ご参加いただけます様宜しくお願い申し上げます。

## 2022構成組織春闘情勢調査結果のご報告

ご案内のとおり、2022春闘学習懇談会は新型コロナウイルス感染症感染防止の観点からやむなく開催見送りとなりましたが、2013年度より毎年ご協力いただいております置賜地協構成組織の「2022春闘情勢調査」は継続して取り組む事と致しました。

今年度も春季生活闘争に取り組むにあたり、「企業業績」・「人件費削減策の有無」・「要求書提出」・「賃上げ要求内容」の4項目について回答をお寄せいただきましたので、各項目におけるこれまでの推移も併せ以下のとおりご報告申し上げます。

時節柄、春闘要求素案準備等の大変お忙しい中ご回答いただきました構成組織の皆さまに対しまして、改めて心から感謝申し上げますと共に次年度以降も引き続きご協力賜われます様宜しくお願い申し上げます。

| 【参考値】 | 置賜地協構成組織数 | 回答数  | 回答率（昨年比）     |
|-------|-----------|------|--------------|
|       | 60組合      | 31組合 | 51.7%（9.1%増） |

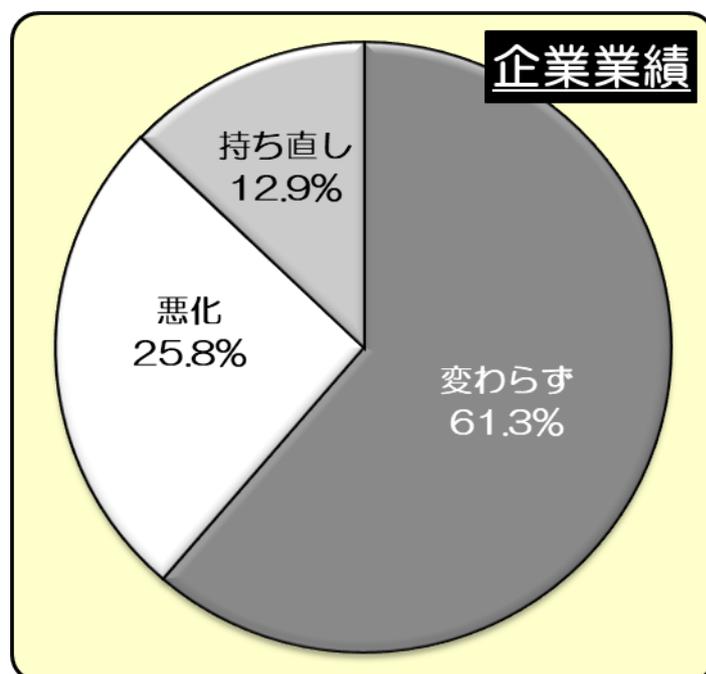
※取り組み期間：2022年1月14日（金）から2月7日（月）にかけて実施

### 企業業績について

昨年同期比における自組織の企業業績については、「変わらず」と答えた組合が61.3%（昨年比19ポイント増）を占めた。

一方、「持ち直した」と答えた組合は12.9%（昨年比10.2ポイント減）となり、また、「悪化した」と答えた組合は25.8%（昨年比8.8ポイント減）となった。

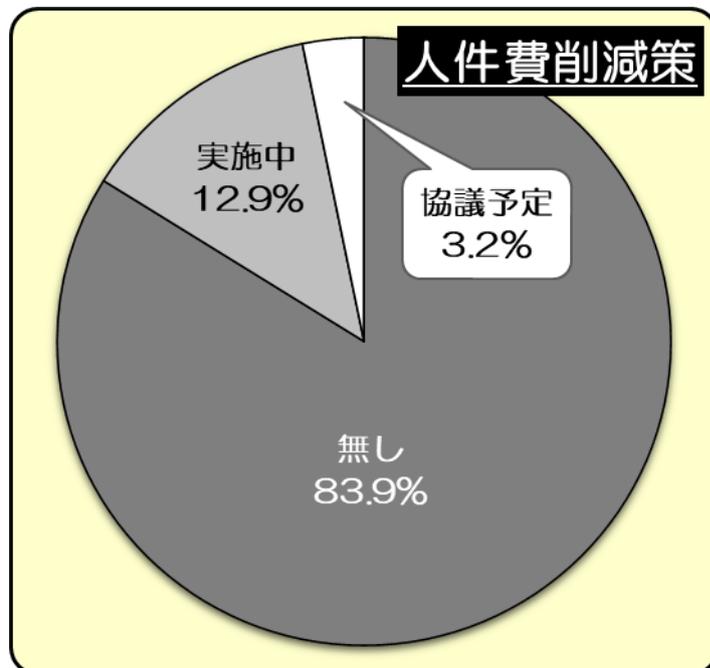
長引くコロナ禍や半導体等の部材不足や原材料の高騰によって、全産業において昨年から引き続き低調な業績になっている事が伺えた。



## 人件費削減策について

会社施策として、賃金カットや早期退職施策、営業拠点の再編等による総人件費削減策の実施有無については、「無し」と答えた組合が83.9%（昨年比0.7ポイント減）を占めた。

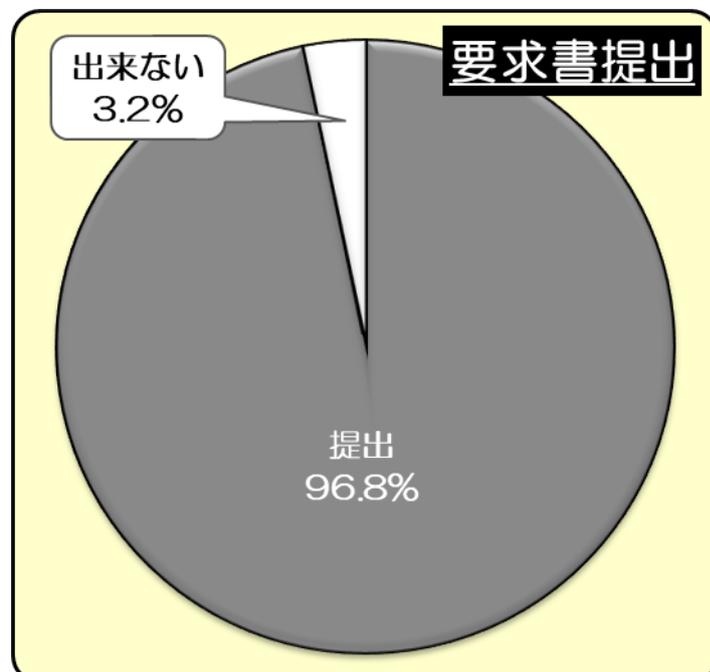
一方、何らかの施策を「実施中」と答えた組合は12.9%（昨年比1.4ポイント増）と昨年に引き続き増加しており、また、「今後協議予定」と答えた組合も3.2%（昨年比0.6ポイント減）ある事から、長引くコロナ禍によって何らかの施策を実施せざるを得ない組合が昨年と同様に推移している事が伺えた。



## 要求書の提出について

2022春季生活闘争に取り組むにあたり、「要求書を提出する」と答えた組合は、全体の9割強となる96.8%（昨年比0.6ポイント増）となった一方、「提出出来ない」と答えた組合が3.2%（昨年比0.6ポイント減）となった。

連合山形が従来から取り組みを強化している要求書提出の重要性が浸透している結果ともなったが、要求書の提出は、賃金交渉以外にも職場環境の改善要求など建設的な労使間での話し合いの場でもある事から、今後も100%達成に向け必要性を訴えて参りたい。

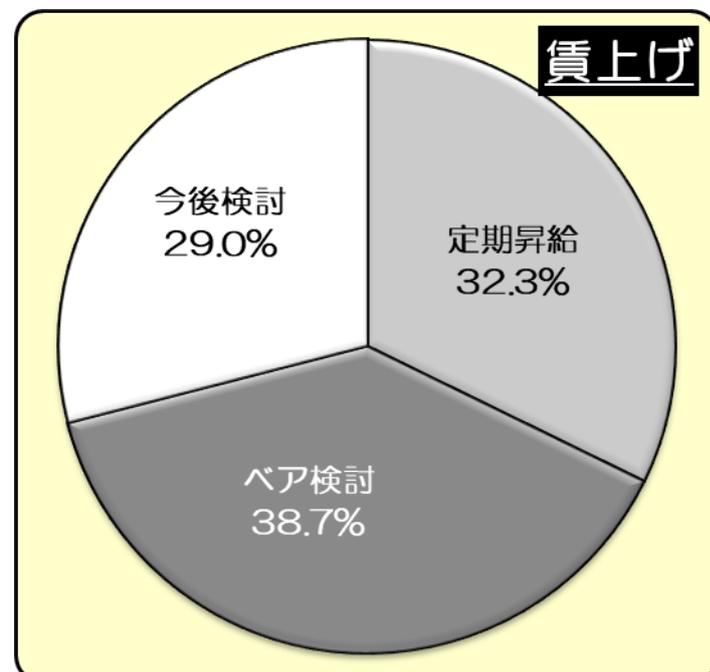


## 賃上げ要求の取り組みについて

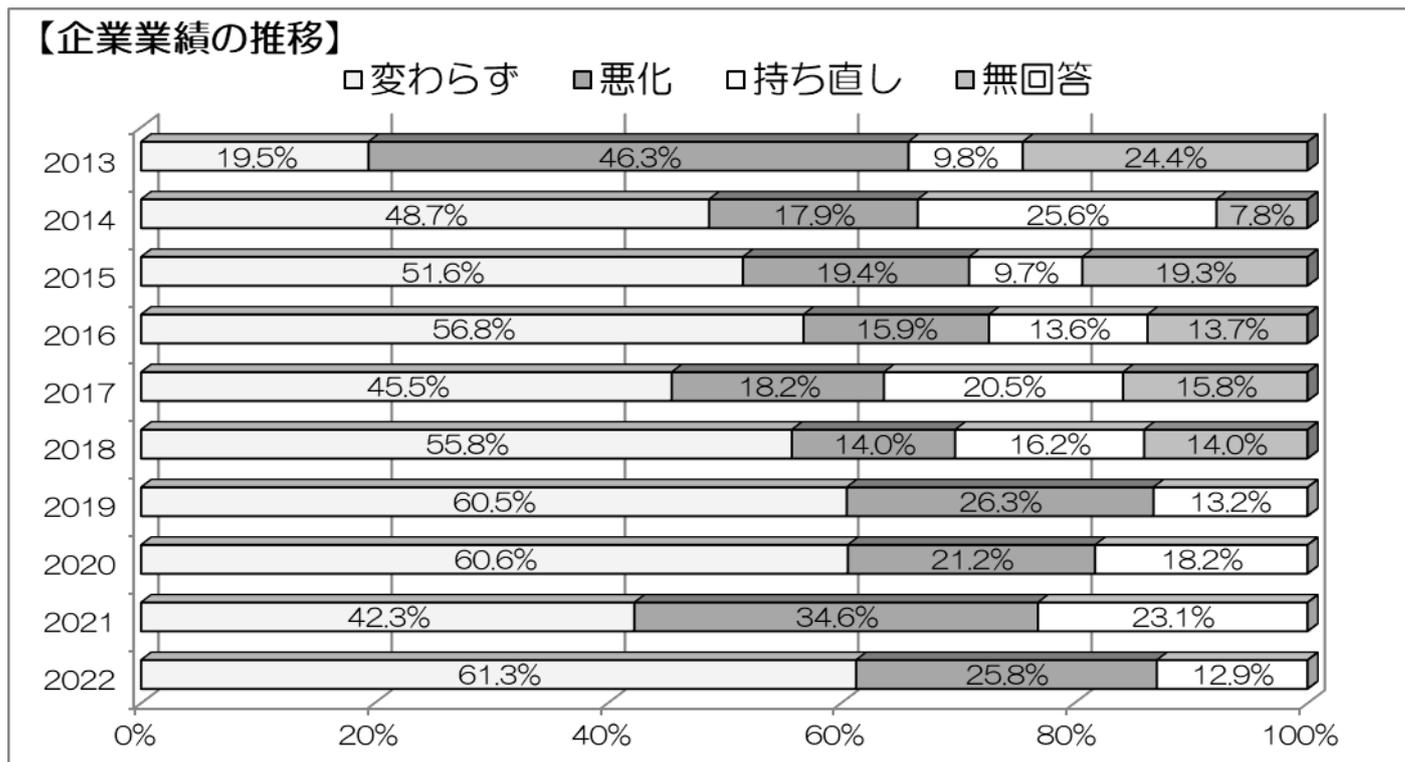
最後に、ベースアップ等の賃金引上げの取り組みについては、「ベア検討」が38.7%（昨年比7.5ポイント減）となった。

一方、ベア要求を断念し、「定期昇給（賃金構造の維持）」と答えた組合が32.3%（昨年比1.5ポイント増）となり拮抗した結果となったが、企業業績の向上が図られず、雇用確保・一時金交渉に注力せざるを得ない組合が増加傾向となっている。

尚、「今後検討」と答えた組合が29.0%（昨年比5.9ポイント増）となったが、今後の経過を注意深く見守って参りたい。



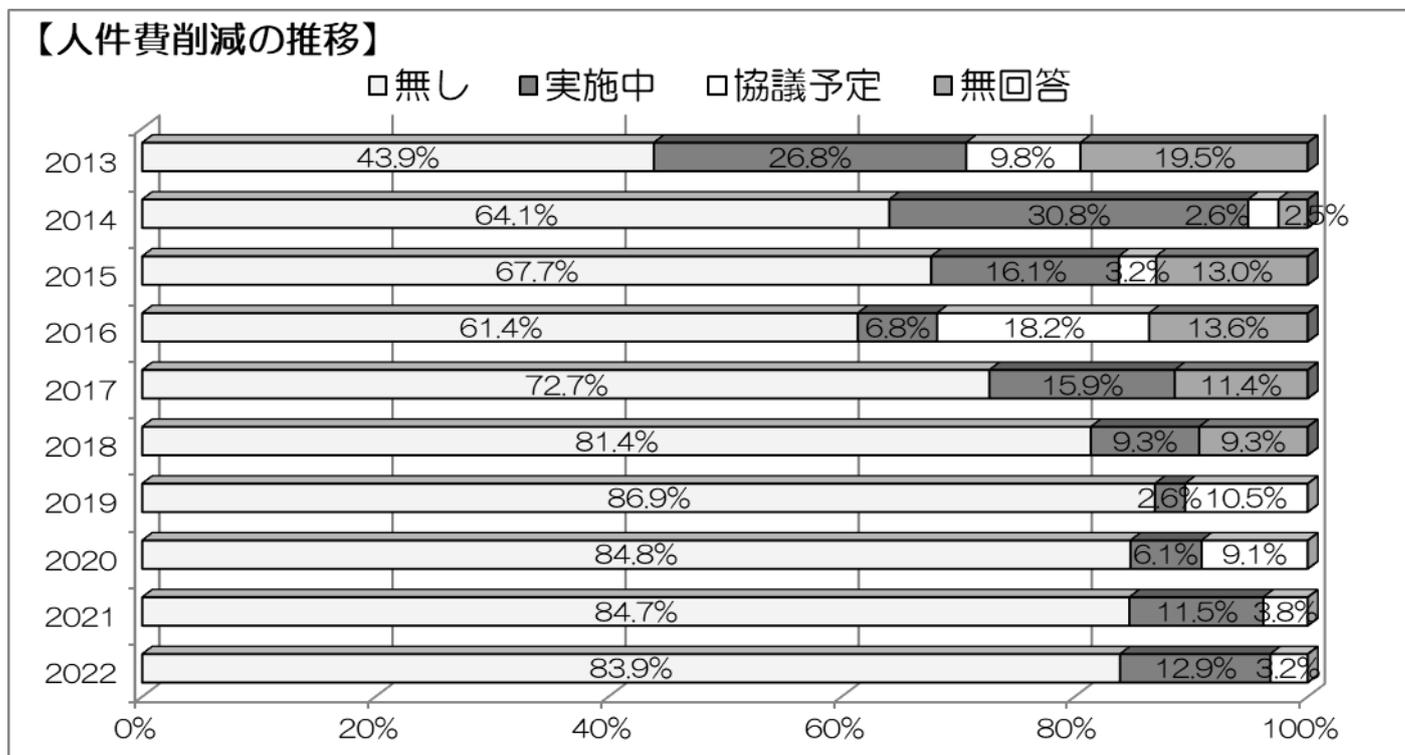
## 【調査を始めた2013年からの「企業業績」に関する推移】



### ■ 昨年から変わらず悪い傾向があり、業績持ち直しも減少

- ・ 2021年から「変わらず悪い」という回答も多くあり、長引くコロナ禍によって景気が低迷し、また、世界的なパンデミックによる部材不足や原材料の高騰が大きく起因している。

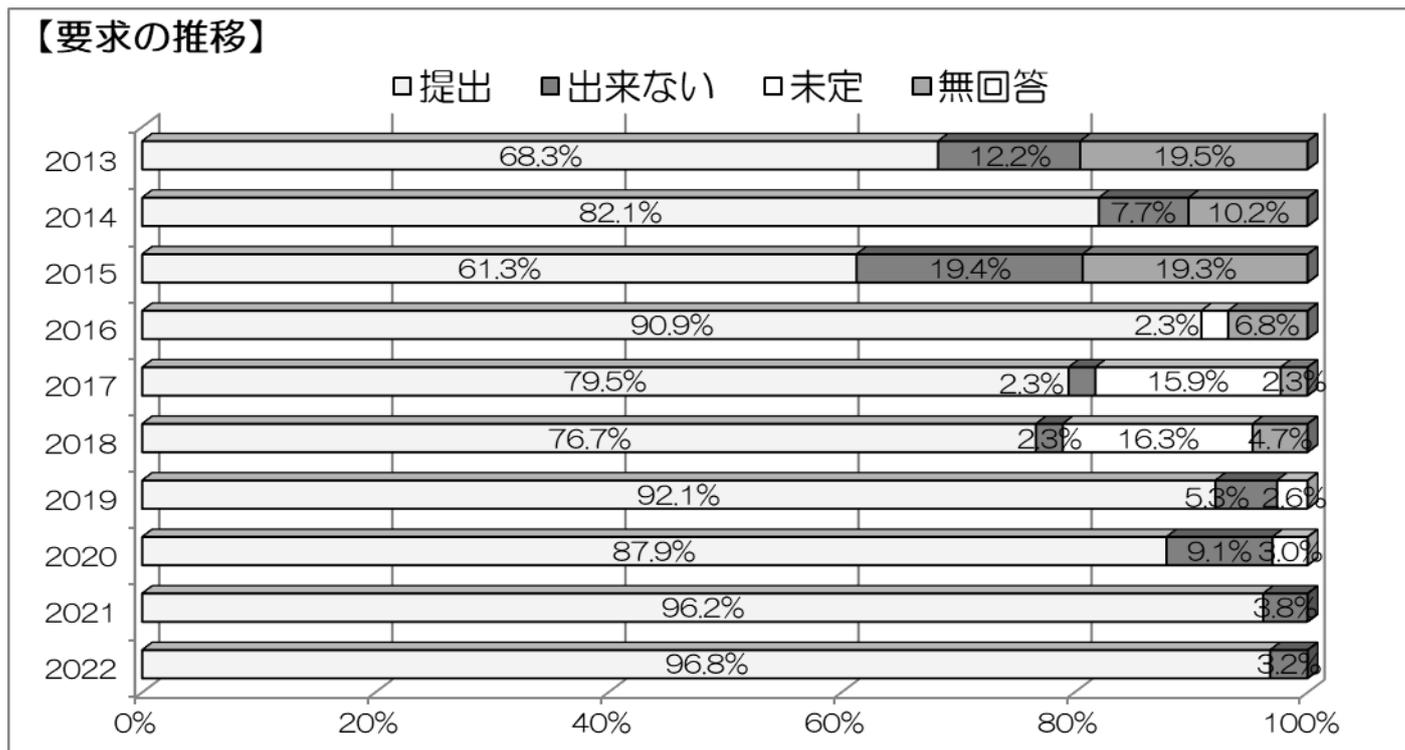
## 【調査を始めた2013年からの「人件費削減」に関する推移】



### ■ 昨年から引き続き人件費削減策の実施

- ・ コロナ等による様々な外的要因によって企業業績の悪化がなかなか改善されず、前年からの継続した人件費削減策を受け入れざるを得ない状況が続いている。

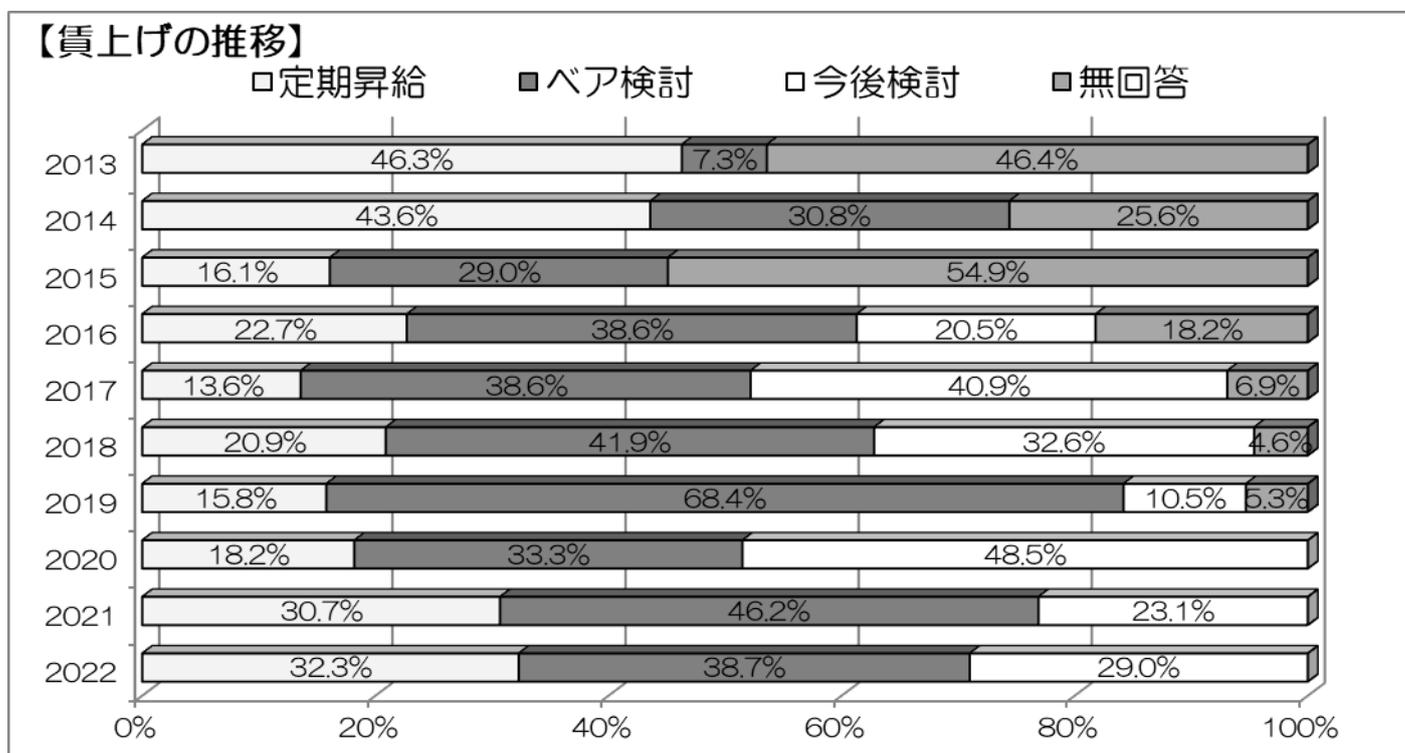
## 【調査を始めた2013年からの「要求書提出」に関する推移】



### ■要求書提出は過去最も高い水準

- ・昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響に関する職場環境の改善要求も重要性が増しており、要求書を提出し労使交渉に挑む組合が調査以来過去最高の結果となった。

## 【調査を始めた2013年からの「賃金の引き上げ」に関する推移】



### ■雇用の維持を最優先とした方針が増加

- ・コロナ禍における企業業績の先行き不透明感が更に増しており、雇用確保を最優先とし賃金改善要求を見送らざるを得ない傾向が伺える。

# 連合山形2022春季生活闘争勝利「総決起集会」

## 昨年同様、デモ行進は見送り規模を半減したうえで開催予定

連合山形は2月9日（水）に開催した第3回執行委員会において2022春闘方針を確立し、その後開催された2022春季生活闘争キックオフ集会において、「未来をつくる。みんなでつくる。」を合言葉に「すべての働く者の立場にたった働き方」を実現する為、全力で闘うことを確認し合いました。

連合山形は、今春季生活闘争における要求実現に向けた意思の結集と組織内外へのアピールを図る為、昨年に引き続きデモ行進を見送りつつ、集会における参加規模の半減や会場換気、飛沫予防措置や消毒徹底などの新型コロナウイルス感染症感染予防対策を最大限に講じたうえで、「2022春季生活闘争勝利！総決起集会」を3月5日（土）に600名規模で開催致します。

**※前段の連合山形女性委員会・青年委員会春闘学習会は感染予防の観点から中止となりました**

- 日時 3月5日（土）13：30～15：00
- 場所 山形市 山形市民会館「大ホール」にて
- 内容
  - ① 主催者挨拶（連合山形舩山会長）
  - ② 連合本部挨拶（DVDメッセージ：芳野会長）
  - ③ 情勢報告（連合山形館内事務局長）
  - ④ 決意表明（基幹労連・JP労組・全水道・青年委員会より）
  - ⑤ 「3.8国際女性デー」アピール（女性委員会）
  - ⑥ 集会アピール採択（連合山形副会長）
  - ⑦ 第26回参議院議員選挙候補予定者紹介（舟山康江参議院議員）
  - ⑧ 団結ガンバロー（連合山形舩山会長）



※写真は2021春闘総決起集会開催風景



# 第26回参議院議員選挙

## 候補予定者「舟山康江」連合山形推薦決まる!!

2022年7月25日に任期満了を迎える参議院議員選挙は、第208回通常国会が6月15日閉幕の日程で行われることを受け、公示日を6月22日（水）、投開票を7月10日（日）に行う方向で調整されています。※2月17日現在、未決定

連合山形は、2月9日（水）に開催された第3回執行委員会において第26回参議院議員選挙立候補予定者の「舟山康江」参議院議員を推薦決定致しました。

昨年秋の衆議院議員選挙は残念な結果となってしまいましたが、引き続き皆さまからの絶大なるお力添えをお寄せくださいます様宜しくお願い申し上げます。

## 第26回参議院議員選挙候補予定者

ふなやま やすえ  
舟山 康江（56歳・国民民主党公認・現職）連合山形推薦

### 【略歴】

- ・1990年 3月 北海道大学農学部農業経済学科卒
- ・1990年 4月 農林水産省入省
- ・2007年 7月 第21回参議院議員選挙（初当選）
- ・2009年 9月 農林水産大臣政務官
- ・2013年 7月 第23回参議院議員選挙（落選）
- ・2016年 7月 第24回参議院議員選挙（当選2期目）
- ・2020年 9月 国民民主党入党 政務調査会長歴任
- ・現 在 国民民主党筆頭副代表、農林水産調査会長  
参議院消費者問題に関する特別委員長



### 【編集後記】

昨年12月に小康状態を保っていた新型コロナウイルス感染症が、年明け以降、新たな変異株によって爆発的な感染拡大を起しました。

山形県内においても、新規感染者無しを1月4日に確認されて以降一気に拡大し、わずか一ヶ月後の2月3日には過去最多となる350人の新規感染者が確認され、置賜地域内でも米沢市と高島町に対し蔓延防止等重点措置が初めて適用されるなど猛威を振るっております。

「またか」「もううんざりだ」そんな声を耳にする日々が続き2年が経過しました。

今年の旗開きや新春の集いも2年連続で中止となり、連合置賜地協として春季生活闘争開始と位置付ける春闘学習懇談会は実施叶わず、春以降に控えている地区メーデーや勤労者体育祭の取り組みも難しい判断が求められております。

労働運動は継続こそが力であり、経験と反省を繰り返しながら次世代の役員へ引き継ぎ、その成果として組合員の労働条件向上が成しえるものと考えます。皆さんも思うような組合活動が出来ず歯がゆい思いをされているのではないのでしょうか。

直接お会いし意見交換する機会も大きく減ってしまいました。先月の第16回定期総会で確認いただいた「やれない理由探しよりもやれる方法を考える」ことをブレずに活動の基礎とし、感染防止に努めながら事務局として引き続き連合運動の下準備を進めてまいりますので、引き続きのご理解とご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。（事務局）

